

記入日

年

月

日

※ 当年 7 月 1 日以降の日付

群馬県知事あて

群馬県私立高等学校等**奨学のための給付金**受給申請書

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金事業実施要綱第 3 条に規定する給付対象世帯に該当するため、同要綱第 8 条の規定により、必要な書類を添えて、以下のとおり申請します。

○誓約

申請にあたり、以下の内容を確認の上、□にチェック（レ印）を記入してください。

・この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

・当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従い給付金を返還します。

・記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請のみであり、他の都道府県への申請を行っておらず、また、行わないことを誓約します。（ただし、災害等に起因する給付額 加算申請のみ行う場合を除く。）

・対象となる高校生は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

・当申請書の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況などについて関係する都道府県や市町村等に照会し、情報提供を受けることに同意します。

・申請区分を【非課税世帯】で申請する場合、生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。

・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

□ 上記のすべての事項について誓約します。

○申請者について（注：原則、高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。）

申請者住所等	〒 群馬県	ふりがな	
	電話（ ）	申請者氏名	
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他（ ）		

○対象となる高校生等について（注：対象となる高校生等が複数人いる場合には、それぞれの対象者ごとに申請してください。）

ふりがな				昭和	年	月	日
生徒氏名				生年月日	平成		
在学する私立学校	学校名・学年	(年)					
	学校種類、課程等 (該当にチェック・レ印)	通信制以外	☐ 高等学校(全日制・定時制) ☐ 専修学校高等課程 (昼間学科・夜間等学科) ☐ 中等教育学校 (後期課程) ☐ 専修学校一般課程 (昼間学科・夜間等学科) ☐ 高等専門学校 (1～3 学年) ☐ 各種学校 (外国人学校・その他)				
		通信制	☐ 高等学校(通信制) ☐ 専修学校高等課程 (通信制学科) ☐ 専修学校一般課程 (通信制学科) ☐ 専修学校高等課程 (通信制学科)				
		学校所在地	都道府県市区町村				
	在学期間	年 月 日 ～ 現在					
過去の高等学校等における在学期間	学校名立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明		
	学校名立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明		

○学校証明欄（注：以下の項目をすべて証明するものであれば、学校独自の証明書の添付でもかまいません。）

次の各項目について相違ないことを証明します。

① 本校が、高等学校等就学支援支援金の支給に関する法律第 2 条に定める学校であること

② 上記生徒が記載の課程に在学しており、当年 7 月 1 日現在休学中でないこと

③ 上記生徒が当年 7 月 1 日現在高等学校等就学支援金または学び直しのための支援金の受給権を有していること

年 月 日

学校所在地

学校名

校長名

連絡先電話番号

印

○保護者等の収入の状況について（申請区分及び必要となる資料）

該当の箇所いずれかにチェックしてください。

(1) 生活保護（生業扶助（高等学校等就学費））受給世帯

☐ 生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書

(2) 非課税（道府県民税所得割及び市町村民税所得割が0円）世帯

以下の者の所得課税証明書を提出します。

・課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名（保護者等A）	続柄	氏名（保護者等B）	続柄
-----------	----	-----------	----

☐ 親権者（両親）2名分

生徒が未成年（18歳未満であり、親権者（両親）が2人存在する場合）

☐ 親権者1名分（親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長等の場合を除く）

- ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、
- ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等

☐ 未成年後見人（ ）名分

親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分）
※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く

☐ 生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分

生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合

☐ 主たる生計維持者 1名分

- ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、
- ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、
- ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、
- ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合等

☐ 生徒本人

親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

次の理由により、所得課税証明書を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であって、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

○振込口座について（原則申請者口座。申請者以外の口座を指定する場合、委任状が必要）

振込口座情報（本支店名・口座番号・口座名義人（カナ））
が確認できるもののコピーを貼付

例：通帳表紙の裏ページ見開き部分、キャッシュカード、オンラインバンキングの画面等

金融機関名	銀行・農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	口座名義 フリガナ
本支店名	本・支店（出張所）	
預金種別	普通・当座・貯蓄	
口座番号(7桁)		

※ 学校設置者による代理受領を希望する場合に限り、以下にチェックし、委任状を提出してください。

☐ 学校設置者による代理受領を希望します（委任状を提出します）。※振込口座の記載は不要

（＊群馬県内の学校の場合のみ記入） 学校受付日 年 月 日

記載例

日付を記入してください。

記入日 令和7年7月10日

※ 当年7月1日以降の日付

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書

生活保護世帯、非課税世帯用の申請書です。

※ 家計急変世帯として申請する場合は、申請書が異なります。

〇誓約

申請にあたり、以下の内容を確認の上、□にチェック（レ印）を記入してください。

- ・この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ・当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従います。
- ・記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請のみとし、また、行わないことを誓約します。
- ・対象となる高校生等は児童福祉法（第24条第1項第2号の2を除く）の支弁対象ではありません。
- ・当申請書の提出は、生活保護（生活扶助）の受給の有無や所得状況、生活保護受給者としての地位を有していることを確認してチェック（レ印）してください。
- ・申請区分を【非課税世帯】で申請する場合、生活保護（生活扶助）を受給していることを誓約します。
- ・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

健康保険被保険者証

家族（被扶養者）

令和7年7月10日交付

記号 〇〇〇〇〇〇 番号 〇〇 (枝番) 〇〇

氏名 群馬 花子

生年月日 平成20年10月10日

性別 女

生年月日 令和7年7月10日

被保険者氏名 群馬 太郎

事業所名称 株式会社 〇〇〇〇

被保険者番号 〇〇〇〇〇〇

被保険者名称 〇〇〇〇

被保険者所在地 〇〇〇〇

健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係

☑ 上記のすべての事項について誓約します。

〇申請者について（注：原則、高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。）

申請者住所等	〒371-8570 群馬県 前橋市大手町 〇-△-□ 〇〇アパート 〇号室 電話 080 (0000) 〇〇〇〇	ふりがな	ぐんま たろう
申請者氏名	群馬 太郎	高校生等との関係	親権者 未成年後見人・未成年後見人である母親・主たる生計維持者・本人

〇対象となる高校生等について

電話番号は、連絡をとりやすいものにしてください。（不足書類等があった際の連絡に使用します。）

高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。

ふりがな	ぐんま 花子	生年月日	平成 21 年 10 月 10 日							
生徒氏名	群馬 花子	学校名・学年	〇〇高等学校 (1 年)							
在学する私立学校	<table border="1"> <tr> <td>学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）</td> <td> ☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等専門学校（1～3 学年） ☐ 高等学校（通信制） ☐ 専修学校一般課程（通信制学科） </td> <td> ☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他） </td> </tr> <tr> <td>学校所在地</td> <td>群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町△-△-△</td> <td></td> </tr> <tr> <td>在学期間</td> <td>令和7年 4 月 1 日 ~ 現在</td> <td></td> </tr> </table>	学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）	☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等専門学校（1～3 学年） ☐ 高等学校（通信制） ☐ 専修学校一般課程（通信制学科）	☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他）	学校所在地	群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町△-△-△		在学期間	令和7年 4 月 1 日 ~ 現在	
学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）	☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等専門学校（1～3 学年） ☐ 高等学校（通信制） ☐ 専修学校一般課程（通信制学科）	☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他）								
学校所在地	群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町△-△-△									
在学期間	令和7年 4 月 1 日 ~ 現在									

過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	学校名	立	～	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数

〇学校証明欄（注：以下の項目をすべて証明するものであれば、学校独自の証明書の添付でもかまいません。）

次の各項目について相違ない。

① 本校が、高等学校等就学支援金等の対象となる学校であること。

② 上記生徒が記載の課程に在学しており、当年7月1日現在休学中でないこと。

③ 上記生徒が当年7月1日現在高等学校等就学支援金または学び直しのための支援金の受給権を有していること。

年 月 日 学 校 校長 印

学校に持参して、学校の証明を受けてください。

学校名

校長名

連絡先電話番号

印

○保護者等の収入の状況について（申請区分及び必要となる資料）

該当の箇所いずれかにチェックしてください。

(1) 生活保護（生業扶助（高等学校等就学費））受給世帯

☐ 生業扶助（高等学校等就学費）を受給していることが分かる証明書

(2) 非課税（道府県民税所得割及び市町村民税所得割が0円）世帯

以下の者の所得課税証明書を提出します。

・課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名（保護者等A）	続柄	氏名（保護者等B）	続柄
群馬 太郎	父	群馬 桜子	母

親権者（両親）2名分

☒ 生徒が未成年（18歳未満）

親権者1名分（親権者が、該当する項目にチェック（し印）してください。

☐ ・離婚、死別等により親権が1人である場合、※記載例は、非課税世帯であって、親権者2名の場合です。

☐ ・親権者が存在するものがない場合等

未成年後見人（ ）名分

☐ 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分）

※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く

生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等）2名分

☐ 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合

主たる生計維持者 1名分

- ☐ ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、
- ☐ ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、
- ☐ ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、
- ☐ ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合等

生徒本人

☐ 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

次の理由により、所得課税証明書を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であって、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

○振込口座について（原則申請者口座。申請者以外の口座を指定する場合、委任状を提出する）

キャッシュカードの写しを

銀行の通帳写しを提出する場合

ゆうちょ銀行の通帳写しを提出する場合

ゆうちょ銀行の場合は、必ず上の氏名欄と下の振込の受取口座用の店番・口座番号が載っているところをコピーして添付

クレジットカードの写しを

クレジットカードの裏面に氏名の記載がない場合は表面も提出。

クレジットカードを兼ねる場合はセキュリティコードは隠す。

金融機関名	銀行 農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	フリガナ	グンマ タロウ
本支店名	本 支店 (出張所)		
預金種別	普通 当座・貯蓄		
口座番号(7桁)	0 1 2 3 4 5 6	口座名義	群馬 太郎

※ 学校設置者による代理受領

☐ 学校設置者による代

原則、表面の申請者と一致します。

振込口座について、申請者以外の口座を振込先とする場合は、委任状を作成し、委任状の「受任者」名義の口座を記入してください。

(※